

上田高等学校関東同窓会 第五十七回総会・懇親会

2018年6月30日（土）於：神田一ツ橋 如水会館



上田高等学校関東同窓会 執行部・総会実行委員会



制作：渡辺 由理子(71期8組)

武蔵野美術大学卒業後、
1980年に地元菅平で
「酸塊窯(すぐりがま)」を開窯。
菅平中学校美術教諭。

【酸塊窯】 上田市菅平高原1223-1827

磁器に染付けで、暮らしの器を作っています。
自然の草花や小鳥の絵柄を中心に、使って楽しく、
そして使い勝手の良い器を目指しています。

第57回総会・懇親会 次第

第1部 講演会 (オリオンルーム) 11:30~12:30

講師 児玉 光史氏 (95期、地元カンパニー社長) 紹介 荒木 亮 (71期)
「地元を離れているけど地元でできることを考える」

第2部 総会 (オリオンルーム) 12:30~13:15

開会の辞		司会 荒木 亮 (71期)
来賓紹介		司会 同上
会長挨拶		会長 上原 昇 (65期)
議長選出		司会 荒木 亮 (71期)
議事		議長 小林 秀一 (71期)
第1号議案	2017年度会務報告 (案)	幹事長 田口 博 (66期)
第2号議案	同 決算報告 (案)	会計長 堤 達 (67期)
第3号議案	同 監査報告	監事 清水 通男 (66期)
	審議・採決	
第4号議案	2018年度会務計画 (案)	幹事長
第5号議案	同 予算 (案)	会計長
	審議・採決	
議事終了		議長
閉会の辞		司会

第3部 演奏会・懇親会 (スターホール) 13:30~16:00

紹介 金井 一正 (76期)
「コカリナ」演奏会 黒坂黒太郎氏 (66期)、矢口周美氏

— 休憩 —

開宴宣言		司会 金井 一正 (76期)
開宴の辞		実行委員長 小林 秀一 (71期)
来賓挨拶	長野県上田高等学校学校長	廣田昌彦様
来賓挨拶・乾杯	上田高等学校同窓会中南信支部支部長	小池健一様 (67期)

— 懇談・会食 —

来年度実行委員代表挨拶		長坂 武見 (72期)
閉宴の辞	副実行委員長	金井 一正 (76期)

第57回総会議案書

第1号議案：2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）会務報告（案）

1. 第56回総会・懇親会：2017年6月24日（土）に如水会館で開催した。70期が実行委員長期で、過去最多となる317人が参加した。イベントとして元最高裁判事の山浦善樹さん（63期）の講演と、母校室内楽班の演奏。
2. 新年会：2018年1月18日（木）に日本教育会館で開催し、103人が参加した。アトラクションは、高橋真理さん（103期）のクラリネットと細井美来さんのピアノによるミニコンサート。
3. 会報：第94号を5月下旬に、95号を12月下旬に発行した。
4. 諸活動：
 - 1) 母校との交流：母校社会講座へ講師を推薦、入学式、卒業式には会長が出席した。
 - 2) 本部、支部同窓会との交流：上田本部、関西、中南信、長野の総会に会長他役員が参加した。
 - 3) 県高校同窓連との交流：県同窓連総会・新年懇親会、東信地区の総会・イベントに参加した。
 - 4) 幹事会、役員会を開催。幹事会は4月、10月、1月に開催した。
 - 5) 委員会活動の推進：
 - ① IT推進委員会：【原田義則委員長(65期)他委員2名】タイムリーな情報更新と各種HPの同窓会HPへのリンク、問題点の改訂と更新。
 - ② 若手会員対策実行委員会：【塩野崎英二委員長(66期)他委員2名】「会員紹介シート」で同窓会活動に理解・協力をいただける人材を募集した。
 - ③ 会員交流推進委員会：【増澤章委員長(68期)他委員2名】「赤松小三郎研究会」を隔月第三火曜日に、「やまびこ」句会を毎月開催。「赤松小三郎研究会」では9月に寺島隆史氏の講演会を開催し会員外も含め106名が参加。「ゴルフ同好会」は4月にコンペを実施、10月は台風のために中止。「絵画同好会」は初めての展覧会を3月に開催、約400名の来場があった。
 - ④ 女性同窓生の会実行委員会：【池田有美子委員長(69期)他委員2名】「女性同窓生の会」を2月に実施。菅沼恵子氏（66期）による「源氏物語の色彩について」の講演と懇親会、37名が参加。
 - ⑤ 学生会員支援委員会：【田口博委員長（66期）他委員3名】8月に商社就職希望学生会員と商社OBとの面談を実施。2月に母校卒業生への同窓会加入案内状を、上田同窓会本部を通じて配布した。
 - ⑥ 編集委員会：【本村委員長(69期)他委員3名】会報94号と95号を発行。

第2号議案：2017年度決算報告（案）（6ページ参照）

1. 一般会計は118千円の赤字で決算

1) 収入は予算比425千円増（雑収入を除くと221千円増）

大会会費は予算比342千円増、前年比462千円増とかなりの増額。年会費は予算比434千円減、前年比で884千円減となり、年会費納入キャンペーンを実施したが回復に至らなかった。

寄付金は予算比284千円増、前年比352千円増。3名から100千円の大口寄付をいただいた。会報広告料は予算比45千円減であったがほぼ前年並みで、新規広告主の開拓を進めたい。

2) 支出面は予算比544千円増

会報費のデータ外注費用が200千円増で、予算比218千円増であった。基金活用事業費（300千円）の内訳は、母校室内楽班招聘費用に242千円、年会費納付促進通信費用に58千円。雑費には母校室内楽班への寄付金（150千円）を含む。

3) 単年度収支は118千円の赤字

来年度への繰越額は2,289千円で前期より減。若手会員を中心とした年会費納付率を高める手立てや寄付を含む収入増と適切な支出管理の継続が必要である。

2. 運営基金は300千円を一般会計に繰入れた結果、残高が10,705千円となった。

第3号議案：2017年度監査報告

2017年度決算報告を詳細に監査した結果、適法且つ正確であることを認める。

2018年4月13日

監事 清水 通男(66期)、倉沢 裕(69期)

第4号議案：2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)会務計画(案)

1. 第57回総会・懇親会

2018年6月30日(土)、如水会館で開始を1時間30分早めて開催。71期を実行委員長期、76期を副委員長期として企画運営。

2. 新年会

2019年1月19日(土)、日本教育会館で初めて土曜日開催を計画。

3. 会報

96号を5月下旬に、97号を12月下旬に発行。

4. 委員会活動の充実

1) IT推進委員会：タイムリーな情報更新、スマホでの閲覧対応の検討、HPへのリンク拡大。

2) 若手会員対策実行委員会：83期～85期の同期会開催のアシスト。

3) 会員交流推進委員会：赤松小三郎研究会とやまびこ句会を継続実施。赤松小三郎研究会講演会を8月に予定。ゴルフ同好会は、4月と10月にコンペ開催予定。絵画同好会の展覧会を企画。

4) 女性同窓生の会実行委員会：今年度も「女性同窓生の会」を企画。

5) 学生会員支援委員会：首都圏在住卒業生会員で希望就職先勤務OBとの面談などを設定、支援。

5. 基金活用事業

若手会員の同期会組織化支援に100千円、年会費納入促進活動支援に100千円、総会・新年会の演奏会出演者への謝礼として100千円を予定。

6. 母校・本部等との交流

母校社会講座への講師派遣、入学式・卒業式への出席。本部会員大会や各支部総会への出席。

7. 他団体との交流

長野県高校同窓会東京連合会や東信同窓連の円滑な運営に協力。

第5号議案：2018年度予算(案) (6ページ参照)

1. 一般会計収入： 7,630千円 (前年度実績：7,725千円)

1) 大会会費	1,830千円	(前年度実績：1,992千円)
2) 会報広告	1,100千円	(" : 955千円)
3) 年会費	3,000千円	(" : 2,566千円)
4) 会議費	800千円	(" : 824千円)
5) 寄付金	600千円	(" : 884千円)
6) 基金より繰入	300千円	(" : 300千円)

2. 一般会計支出： 7,520千円 (前年度実績：7,844千円)

1) 大会費	1,800千円	(前年度実績：1,808千円)
2) 会報費	2,850千円	(" : 2,918千円)
3) 交通費	350千円	(" : 336千円)
4) 通信費	60千円	(" : 73千円)
5) 会議費	890千円	(" : 1,025千円)
6) 渉外費	230千円	(" : 235千円)
7) 印刷費	80千円	(" : 67千円)
8) 事務費	780千円	(" : 778千円)
9) 雑費	80千円	(" : 223千円)
10) 委員会推進費	100千円	(" : 82千円)
11) 基金活用事業費	300千円	(" : 300千円)

3. 次年度繰越： 2,400千円 (前年度実績：2,290千円)

4. 運営基金予算

・前期繰越	10,705千円
・収入	1千円 (利息)
・支出	300千円 (一般会計への繰入)
・期末残高	10,406千円

2017年度決算案（2017年4月1日～2018年3月31日）

単位：円

収入の部			
科目	予算	決算	差額
前期繰越金	2,408,216	2,408,216	0
大会会費収入	1,650,000	1,992,000	342,000
会報広告料	1,000,000	955,000	-45,000
年会費収入	3,000,000	2,566,000	-434,000
会議費収入	750,000	823,776	73,776
寄付金収入	600,000	883,940	283,940
雑収入	0	204,500	204,500
受取利息収入	0	10	10
基金より繰入	300,000	300,000	0
(小計)	7,300,000	7,725,226	425,226
(合計)	9,708,216	10,133,442	425,226

支出の部			
科目	予算	決算	差額
大会費	1,780,000	1,807,567	27,567
会報費	2,700,000	2,918,160	218,160
交通費	300,000	336,008	36,008
通信費	70,000	73,091	3,091
会議費	850,000	1,025,175	175,175
渉外費	200,000	234,500	34,500
印刷費	80,000	67,105	-12,895
事務費	840,000	777,850	-62,150
雑費	80,000	222,585	142,585
委員会推進費	100,000	81,600	-18,400
基金活用事業費	300,000	299,935	-65
(小計)	7,300,000	7,843,576	543,576
次期繰越金	2,408,216	2,289,866	-118,350
(合計)	9,708,216	10,133,442	425,226

2018年度予算案（2018年4月1日～2019年3月31日）

単位：円

収入の部			
科目	2018年度予算	2017年度決算	増減
前期繰越金	2,289,866	2,408,216	-118,350
大会会費収入	1,830,000	1,992,000	-162,000
会報広告料	1,100,000	955,000	145,000
年会費収入	3,000,000	2,566,000	434,000
会議費収入	800,000	823,776	-23,776
寄付金収入	600,000	883,940	-283,940
雑収入	0	204,500	-204,500
受取利息収入	0	10	-10
基金より繰入	300,000	300,000	0
(小計)	7,630,000	7,725,226	-95,226
(合計)	9,919,866	10,133,442	-213,576

支出の部			
科目	2018年度予算	2017年度決算	増減
大会費	1,800,000	1,807,567	-7,567
会報費	2,850,000	2,918,160	-68,160
交通費	350,000	336,008	13,992
通信費	60,000	73,091	-13,091
会議費	890,000	1,025,175	-135,175
渉外費	230,000	234,500	-4,500
印刷費	80,000	67,105	12,895
事務費	780,000	777,850	2,150
雑費	80,000	222,585	-142,585
委員会推進費	100,000	81,600	18,400
基金活用事業費	300,000	299,935	65
(小計)	7,520,000	7,843,576	-323,576
次期繰越金	2,399,866	2,289,866	110,000
(合計)	9,919,866	10,133,442	-213,576

運営基金（2017年度 決算案）

単位：円

科目	前期繰越	当期収入	当期支出	期末残高
運営基金	10,500,000	0	0	10,500,000
同利息	503,855	893	300,000	204,748
合計	11,003,855	893	300,000	10,704,748

運営基金（2018年度 予算案）

単位：円

科目	前期繰越	当期収入	当期支出	期末残高
運営基金	10,500,000	0	94,352	10,405,648
同利息	204,748	900	205,648	0
合計	10,704,748	900	300,000	10,405,648

一般会計・運営基金総括表(2018/3/31現在)

単位：円

科目	金額	科目	金額
定期預金(大口定期)	10,500,000	運営基金	10,704,748
普通預金(定期利息用)	204,748		
郵便振替口座	1,869,015	次期繰越金	2,289,866
普通預金	177,807		
普通預金	243,044		
合計	12,994,614		12,994,614

定期預金／普通預金(定期利息用)：みずほ銀行 兜町支店
 郵便振替口座：日本橋郵便局
 普通預金：みずほ銀行 宮前平支店
 普通預金：三菱UFJ銀行 大泉支店

上田高等学校関東同窓会役員および期幹事名簿

2018年6月30日

役職	氏名	期	役職	氏名	期	役職	氏名	役職	氏名
会長	上原昇	65	相談役	甕滋	50	35期代表幹事		48期代表幹事	
副会長	原田義則	65	〃	丸山瑛一	51	35期幹事	滝澤正	48期幹事	浦田光雄
〃	塩野崎英二	66	〃	石井光春	54			〃	坂梨港
〃	増澤章	68	〃	前田喜美子	54	36期代表幹事		〃	中澤利雄
〃	池田有美子	69	〃	白井透	60	37期代表幹事		〃	畠山寛
幹事長	田口博	66	〃	滝澤進	61	38期代表幹事		〃	宮澤武夫
会計長	堤達	67	〃	高梨奉男	62	39期代表幹事			
編集長	本村龍生	69							
副幹事長	古畑克巳	69				40期代表幹事	児玉安彦		
〃	荒木由美子	69						49期代表幹事	
〃	中村冠	70	顧問	堀内忠久	53	41期代表幹事		49期幹事	大石和夫
〃	望月亮子	71	〃	馬場武彦	54	41期幹事	生島信夫	〃	荻原賢
〃	関博明	72	〃	宮島光男	55	〃	川尻悦三	〃	小澤泰衛
〃	福田礼子	72	〃	成田邦夫	56	〃	白鳥武	〃	石井智憲
〃	渡邊温子	72	〃	有賀勝雄	59	〃	羽田邦彦	〃	土屋正
〃	橋詰富博	73	〃	鷹野芳機	60			〃	鶴見慎一郎
〃	一ノ瀬康利	75	〃	笠井徳爾	61	42期代表幹事		〃	藤家衛
〃	小泉行徳	75	〃	栗山正雄	62	42期幹事	小林孝雄	〃	堀内寅次
〃	鴫澤省一	76	〃	藤川昇	63	〃	高橋祇市	〃	松本初男
〃	渡邊博	78	〃	小松正佳	64			〃	宮坂亨
〃	戸田由香	79	〃	丸山暢久	65	43期代表幹事	佐々木三夫		
〃	石黒久仁子	80	〃	水島良子	67	43期幹事	中沢信		
〃	四方ゆかり	81						50期代表幹事	児玉忠雄
副会計長	荻原貴	79				44-5代表幹事	手塚敬一	〃	五十嵐明迪
監事	清水通男	66						50期幹事	井出藤寿
〃	倉沢裕	69				44-4代表幹事		〃	尾台久
						44-4期幹事	滝沢源平	〃	新堀英行
						〃	高橋昭平	〃	西野明
								〃	間庭秀人
						45期代表幹事	山邊力	〃	甕滋
						46期代表幹事	丸山浩一		
						46期幹事	工藤忠房	51期代表幹事	村田寛
						〃	長谷川潔	51期幹事	飯塚寿
								〃	中島宏
						47期代表幹事		〃	丸山瑛一
						47期幹事	加藤文郎	〃	市川慶伍
						〃	豊城乾	〃	山本晏久
								〃	荒井一男

上田高等学校関東同窓会役員および期幹事名簿

2018年6月30日

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
51期幹事	中澤 良行	54期代表幹事	倉 島 彰	57期幹事	宮坂 幸雄	59期幹事	関口 勝子
〃	早川 正範	〃	藤村 延魚	〃	松木 功	〃	長谷川久二
〃	浅野 井哲	54期幹事	石井 光春	〃	宇賀神一雄	〃	池内 正直
〃	上原 隆雄	〃	馬場 武彦	〃	倉島 俊二	〃	小林 芳友
〃	内久根孝一	〃	神津 勝重	〃	桑原 恒雄		
〃	太田 幸男	〃	寺島 重暉	〃	神田 昇	60期代表幹事	鷹野 芳機
〃	掛川 國雄	〃	杳掛 文哉	〃	小島 涉	60期幹事	久田 英保
〃	武井 厚	〃	田村 朗	〃	竹花 正博	〃	松木 強
〃	堀内 弘栄	〃	宮沢 壮介	〃	飯島 辰夫	〃	白井 透
		〃	中村 忠勝	〃	清水 康弘	〃	萩原 武仁
						〃	杳掛 行徳
52期代表幹事	柴田 正人						
52期幹事	萩原 静寿	55期代表幹事	宮島 光男	58期代表幹事	北村 尚巳		
〃	石合 正和	55期幹事	関 五郎	58期幹事	奥村 昌機	61期代表幹事	三井 文人
〃	小林 盛男	〃	秋葉 光廣	〃	本田 祥治	〃	杳掛 忠
〃	石卷 伸夫	〃	土屋 務	〃	金子 親碩	61期幹事	佐藤 守正
〃	濱野 志め	〃	鶴見 貞夫	〃	宮川 克彦	〃	市川 武伸
〃	廣瀬 敏夫	〃	片岡 恒夫	〃	伊藤 文明	〃	成沢 文計
〃	飯塚 和男	〃	飯島慶三郎	〃	神津 進	〃	萩原 聖巳
		〃	和田 守	〃	赤池 三男	〃	坂井 英樹
				〃	斎藤 亨	〃	山浦直次郎
				〃	金井 久	〃	萩原 隆治
53期代表幹事	須田 武久			〃	佐藤 鐵也	〃	井上 剛
53期幹事	堀内 忠久	56期代表幹事	小平 節夫	〃	品川 勇一	〃	笠井 徳爾
〃	山本農夫彦	56期幹事	大久保治夫	〃	高橋 福幸	〃	望月 信
〃	阿久津義雄	〃	中村 甲治	〃	寺島 紘士		
〃	半田 喜章	〃	藤沢 行雄			62期代表幹事	岩井 重一
〃	堀内 福	〃	笹沢 政道			〃	依田欣五郎
〃	武重 賢治	〃	上原 清治			〃	栗山 正雄
〃	樋川 光彦	〃	柴田 義人	59期代表幹事	桜井 資悦	〃	高梨 奉男
〃	井上 真人	〃	平野 武明	〃	有賀 勝雄	62期幹事	酒井伸二郎
〃	佐藤 明朗	〃	成田 邦夫	59期幹事	関根 克郎	〃	室賀 太郎
〃	半田 義昭	〃	瀬下 正利	〃	水出 清仁	〃	小山 平六
〃	増田 隅雄	〃	松井 廣通	〃	清水 和	〃	田島 善光
〃	松井 利通	〃	若林 克寿	〃	小林 賢一	〃	羽田 啓吾
		〃	渡辺 善国	〃	萩原 清人	〃	秋田 勇
				〃	小林 朋晃	〃	諸岡 健児
				〃	本郷 達郎	〃	松井 由美
		57期代表幹事	田沢 雄二郎	〃	木下 嶺夫	〃	宮崎 信二
		57期幹事	有井 毅	〃	田村 功		

上田高等学校関東同窓会役員および期幹事名簿

2018年6月30日

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
62期幹事	片山 隆行	65期幹事	山浦 信幸	69期代表幹事	桑原 邦寿	75期代表幹事	一之瀬 康利
〃	高松 郁夫	〃	神宮 進	69期幹事	黒田 英臣	〃	小泉 行徳
		〃	深町 美由	〃	荒木 久文	〃	大工 原潤
		〃	中山 正光	〃	古畑 克巳		
63期代表幹事	川村 恭司	〃	田中由紀子	〃	東川 巖	76期代表幹事	金井 一正
〃	藤川 昇	〃	武澤美佐子	〃	細萱 文彦	〃	鴫澤 省一
〃	大塚 和宏			〃	関 和義	〃	永島 精二
63期幹事	濱谷 幸夫	66期代表幹事	塩野崎 英二			76期幹事	清水 順三
〃	上条 和祥	〃	大倉 洋一	70期代表幹事	丸山 清光	〃	窪田 道子
〃	小田中時幸	〃	大石 雄司	〃	佐藤 秀紀		
〃	西村 耕三	66期幹事	北沢 英男	70期幹事	青木 繁忠		
〃	山浦 善樹	〃	小森 幸則	〃	中村 冠	77期代表幹事	北沢 玲朗
〃	田中 稔	〃	田口 博	〃	緑川 正博	77期幹事	小林 正晃
〃	内山 宗芳	〃	笹澤 和平			〃	高橋 則博
				71期代表幹事	小林 清隆	〃	西沢 一久
64期代表幹事	小松 正佳	67期代表幹事	渡邊 信幸	71期幹事	茅野 昌義		
〃	村居 次雄	67期幹事	猪坂 周一	〃	荒木 亮	78期代表幹事	渡邊 博
64期幹事		〃	石田 清典	〃	増田 尚紀	78期幹事	諸山 司
		〃	飯島 康夫	〃	由井 哲郎	〃	松沢 明廣
		〃	沓掛 正樹	〃	中村 一夫	〃	土屋 佳明
65期代表幹事	上原 昇	〃	掛川 正幸				
〃	丸山 暢久	〃	小林 猛	72期代表幹事	関 博明	79期代表幹事	荻原 貴
〃	宮原 豊	〃	丸山 博見	〃	関 雄二	〃	戸田 由香
65期幹事	田村 栄治	〃	佐々木美千代	〃	渡邊 温子	79期幹事	竹鼻 ゆかり
〃	牧野 泰晴	〃	土屋 英子	72期幹事	田中 誠	〃	松尾 弘
〃	小宮山 豊	〃	西川 明子	〃	矢島 基美	〃	清水 雄至
〃	林 長人	〃	松本 哲夫	〃	山崎 初美	〃	成田 裕夫
〃	原田 義則	〃	村越 進	〃	依田 昌樹	〃	笹沢 英生
〃	大野 正廣					〃	西沢 尚
〃	浅倉 英樹	68期代表幹事	土屋 耕太郎	73期代表幹事	掛川 治男	〃	坂田 尚美
〃	成澤 文和	68期幹事	碓田 茂	〃	宮下 克彦	〃	高寺 利行
〃	森 則雄	〃	丸山 洋一	73期幹事	市川 節男	〃	井出 浩一
〃	折井 正博	〃	尾台 孝男	〃	橋爪 尚子	〃	長田 敦子
〃	内堀 信	〃	青沼 正人	〃	小平 康人	〃	柳原 雅子
〃	宮川 恵三	〃	石垣 洋子				
〃	櫻田 喜貢穂	〃	芝間 伸剛	74期代表幹事	土屋 三千夫		
〃	池田 恵一			74期幹事	三ツ井 克明	80期代表幹事	長谷川 剛
〃	山浦 陽士	69期代表幹事	倉沢 裕	〃	宮島 敏郎	〃	會田 信子
〃	牧野 泉	〃	近藤 正昭	〃	山口 哲明	〃	櫻井 規喜

上田高等学校関東同窓会役員および期幹事名簿

2018年6月30日

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
80期幹事	辻 良 美	85期代表幹事	小須田武志	96期幹事		106期代表幹事	
〃	西 沢 志 信	85期幹事	近 藤 弘 司			106期幹事	
〃	柳 沢 孝 之			97期代表幹事			
〃	今 井 隆 志	86期代表幹事	山 本 寛	97期幹事		107期代表幹事	
〃	新 井 昌 子	86期幹事	住 田 陽 子			107期幹事	
〃	花 岡 健			98期代表幹事			
〃	梅 邦 子	87期代表幹事		98期幹事		108期代表幹事	
〃	五 十 嵐 剛	87期幹事				108期幹事	
〃	原 久 美			99期代表幹事	中 嶋 豪		
〃	鈴 木 巳 季	88期代表幹事	高 星 音 栄	〃	矢 島 好 太 郎	109期代表幹事	
〃	松 尾 淳 子	〃	戸 堀 真 澄			109期幹事	
〃	飯 窪 順 子	88期幹事	中 島 数 晃	100期代表幹事			
〃	山 中 英 俊		馬 場 久 美 子	100期幹事		110期代表幹事	
〃	柄 澤 真 子					110期幹事	
〃	山 浦 正 宏	89期代表幹事	小 林 幸 治	101期代表幹事	内 藤 博 章		
		89期幹事		101期幹事	平 林 勇 人	111期代表幹事	
				〃	久 保 田 徹	111期幹事	
81期代表幹事	服 部 み どり	90期代表幹事		〃	平 能 修		
〃	毛 利 元 晶	90期幹事		〃	西 沢 徹	112期代表幹事	
〃	横 関 正 人			〃	葦 沢 健 作	112期幹事	
		91期代表幹事					
82期代表幹事		91期幹事		102期代表幹事	飯 島 正	113期代表幹事	
82期幹事	堀 田 きよみ			102期幹事	山 下 真 梨	113期幹事	
〃	田 玉 智 明	92期代表幹事		〃	宮 澤 梓		
〃	服 部 順 子	92期幹事		〃	輿 水 理 美	114期代表幹事	
〃	古 平 明 尚			〃	森 秋 恵	114期幹事	
		93期代表幹事		〃	宮 下 紗 貴		
		93期幹事				115期代表幹事	
83期代表幹事	竹 内 延 彦			103期代表幹事	大 谷 真 宙	115期幹事	
〃	尾 添 静 子	94期代表幹事		〃	竹 村 淳 一		
〃	五 十 嵐 恵 子	94期幹事				116期代表幹事	
				104期代表幹事		116期幹事	
		95期代表幹事	小 宮 山 和 匡	104期幹事			
84期代表幹事	長 尾 健	95期幹事	橋 本 清 香				
84期幹事	山 浦 実			105期代表幹事			
〃	向 本 直 樹	96期代表幹事		105期幹事			

<お願い>

関東同窓会は、各期の幹事を通じて諸事執り行うことになっています。各期の各クラスから、原則一人、その中から代表幹事を選んでいただくことになっています。幹事未選定の期は選んでいただき事務局(幹事長)に報告するか、相談してください。

上田高等学校関東同窓会会則

第1章 総則

第1条 名称

この会は上田高等学校関東同窓会という。

第2条 目的

この会は会員相互の親睦をはかり、併せて 母校の発展に寄与する事を目的とする。

第3条 事業

この会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 会報及び会員名簿の発行。
2. その他必要な事業

第4条 事務局

この会は事務局を原則として会長宅または幹事長宅に置く。その他特定の場所に置く場合は会長が指定し幹事会の承認を得る。

第2章 会員

第5条 会員

この会の会員は旧制長野県上田中学校、新制上田松尾高等学校および上田高等学校を卒業または同校に在籍した者で、現に関東地区に居住している者とする。

前項の者以外で、この会に特に関係が深く、幹事会の推薦を受けた者も会員となることができる。

会員は会報の配布を受けることができる。但し長期にわたり会費納入が滞った場合はこの限りではない。

第6条 会費

この会の会費は、幹事会および総会の議決を経て別に定める。

但し当該年度4月から満80歳を迎える期の会員は全て会費の納入を免除する。

第7条 会員資格の喪失

会員は次の場合資格を失う。

1. 死亡したとき。
2. 主たる居住を関東地区以外へ移したとき。
3. 会の名誉を傷つけ、または会の目的に反する行為があり、幹事会がその出席者の3分2以上の多数をもって除名を決議したとき。

第3章 代表幹事および幹事

第8条 代表幹事の選任

会員は各卒業期ごとに同期会員の中から代表幹事3名以内を選定し、総会に報告する。部活、出身地域、職業などを基準とした同窓会組織団体は、総会の承認を得て、各団体1名の代表幹事を選出することができる。

総会が前2項により報告された代表幹事を否認する場合は出席者の3分の2以上の議決を必要とする。

代表幹事は総会資料に記載、途中交代があった場合その補欠者は会報に記載する。

代表幹事以外の各期幹事、クラス幹事の選定は各期、各クラスにて適宜行うものとする。

第9条 代表幹事の責務

代表幹事は同期会員または選出団体の会員との連絡を密にし幹事会に出席して会の運営に参画する。

代表幹事の任期は承認された総会を起点として3ヵ年とする。但し補欠者の任期は前任者の任期とする。

第4章 役員

第10条 役員

この会に次の役員を置く。

会長	1名	副会長	若干名
幹事長	1名	副幹事長	若干名
会計長	1名	副会計長	若干名
会報編集長	1名		
監事	若干名		

第11条 役員 の責務

会長は会を代表し会務を総括する。

副会長は会長を補佐し会長に事故あるときは卒業期の順に従ってその責務を代行する。

幹事長は幹事会を代表し会務を処理する。

副幹事長は幹事長を補佐し幹事長に事故があるときは卒業期の順に従ってその責務を代行する。

会計長はこの会の会計に当たる。

副会計長は会計長を補佐し会計長に事故あるときは卒業期の順に従ってその責務を代行する。

会報編集長は会報の編集に当たる。その際、編集方針並びに編集内容を幹事会に諮るものとする。

監事はこの会の運営、会計を監査し総会に報告する。

第12条 役員を選出と任期

役員を選出は総会において行う。

幹事会はその任期終了に先立ち次期役員を選考を行い、本人の承諾を得て総会に推薦する。

役員任期は選出された総会を起点として3年とする。

第13条 相談役

この会は会長経験者ならびに会の発展、運営に著しい貢献のあった者に相談役を委嘱することができる。

相談役は幹事会の議決を経て総会において推挙する。

相談役は会長の諮問に応ずるとともに、幹事会に出席して、意見を述べるができる。

第14条 顧問

この会は、会の運営等に関し豊富な経験、知識を持ち、また、特定の課題の研究、検討に参画できる専門的知識を有する者に顧問を委嘱することができる。

顧問は幹事会の議決を経て会長が委嘱するものとし、その任期は目的に応じて定める。

顧問は会長の諮問に応ずるとともに、幹事会、特定の委員会に出席して意見を述べることができる。

第5章 会 議

第15条 総会

総会はこの会の最高議決機関で、年1回これを開く。

総会は下記の事項のほか会務一般を審議、決定する。

1. 役員人事
2. 前年度の事業報告および収支決算
3. 新年度の事業計画および収支予算

総会の議長は開会時総会司会者が仮議長となって出席者中より選出する。

総会の議決は出席者の過半数をもって行い、可否同数のときは議長がこれを決定する。

第16条 役員会

役員会は第10条に定める役員（但し監事を除く）をもって構成し、幹事会の開催に係わる事項を審議決定するとともに会務の執行に当たる。

第17条 幹事会

幹事会は総会に次ぐこの会の議決機関で、役員、代表幹事で構成され、原則として毎年3回以上これを開き、会務を審議決定する。出席の相談役、顧問はこれに加わる。

幹事会の議長は原則として幹事長がこれに当たる。

幹事会の議決は出席者の過半数を持って行い、可否同数の時は議長がこれを決定する。

第18条 会議の招集

総会および幹事会は会長がこれを招集する。

会議の通知は総会については原則として会報をもってし、幹事会については会長が便宜とする適宜の文書その他をもって行う。何れの場合も会議召集の目的、期日、場所を明示して通知しなければならない。

会長は必要な場合臨時総会又は臨時幹事会を招集することができる。

代表幹事の4分の1以上または会員の50名以上が署名した文書による要求があるときは、会長は速やかにそれぞれ臨時幹事会または臨時総会を招集しなければならない。

第19条 委員会

会長は必要な場合幹事会の承認を得て各種の委員会を設けることができる。

委員会の名称、構成、運営等については幹事会においてこれを定める。

第6章 会計・その他

第20条 資金

この会の事務遂行、運営に要する費用は会費、寄付金、事業に伴う収入およびその他の雑収入をもって充てる。

第21条 会計年度

この会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第22条 細則

この会の運営の細部に関しては、会長は幹事会の承認を得て別に細則を定めることができる。

第23条 会則の変更

この会則を変更するには、幹事会の議決を経て総会において出席者の3分の2以上の同意を得なければならない。

【付 則】

本会則は昭和59年6月28日より実施する。

第1回改正実施：平成13年7月14日。

【 会費規定 】

(1) この会の会費は年額2,000円とする。

(2) 会費は原則として毎年の会計年度内に納入するものとする。但し前納は妨げない。

(3) 納入は現金、銀行振込、郵便振替その他便宜な方法で事務局又は所定の口座宛に行うものとする。

(4) 会費納入者の氏名は会報に公示し、これをもって受領証にかえる。

(5) 納入された会費は事情の如何にかかわらずこれを返却しない。

【 運営基金運用規程 】

- (1) 運営基金（以下「基金」）は、関東同窓会の会運営の財政的安定と活動の活発化に貢献する事を目的とし、「運営基金特別会計」において経理する。
- (2) 基金は、安全確実な金融機関に託すほか、適切な場合には、国債の購入を行うことができる。
- (3) 基金は、会の運営上必要な場合には、総額600万円を限度として取り崩し、一般会計に繰り入れることができる。
- (4) 上記（3）において、単年度に取り崩すことのできる基金の額は30万円を限度とし、その用途は同窓会活動の活発化に資する次の事業の中から年度ごとに決定する。
 - ① 関東同窓会総会等への母校班活動招へい費用
 - ② 若手会員の同期会組織化の通信費等
 - ③ 新卒業生の総会招待への補助
 - ④ 年会費納入促進のための費用
 - ⑤ その他同窓会活動の活発化に資する事業
- (5) 上記（4）において、単年度の使用額が当該年度の取崩し額に満たない場合には、残額を翌年度に繰り越し（4）の用途に充てることができる。
- (6) 毎年度、「運営基金特別会計」についての予算及び決算を総会に提出し、承認を得るものとする。
- (7) この規程の改正は、総会において承認を得なければならない。

附則 この運営基金運用規程は、平成28年度の通常総会開催の日から実施する。

以 上

ご あ い さ つ

本日は来賓の皆さま、多くの会員の皆さまのご参加をいただき心より感謝申し上げます。皆さまのご協力により無事、総会・懇親会を執り行うことが出来ますことに、実行委員、執行部一同心より厚く御礼申し上げます。

上田高等学校関東同窓会は、諸先輩の情熱と努力により幾多の試練を乗り越えて運営して参りました。この会を更に育てていくためには会員の皆様に主体的に関わっていただくことが必要です。同窓生諸兄姉の一層のご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

来年の第58回総会は72期を筆頭に、77、82、87、92期の皆さまに実行委員として運営に携わっていただきます。どうかよろしく願いいたします。

それでは会員の皆さま、2019年6月29日（土）にまた元気でお会いしましょう。皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

2018年6月30日

第57回総会・懇親会実行委員・執行部一同
実行委員長 小林 秀一（71期）
副実行委員長 金井 一正（76期）

上田高等学校校歌集

校歌

上田中学国漢科作詞
岡野貞一作曲

1. 秋玲瓏の空衝きて
ゆふべ太郎の嶺高し
春縹渺の末けむる
あした千曲の水長し
2. 関八州の精鋭を
ここに挫きし英雄の
義心のあとは今もなほ
松尾が丘の花と咲く
3. 古城の門をいで入りて
不動の心山に見る
我に至高の望あり
拳世の浮華に迷はむや
4. とうとき霊血に承けて
不断の訓川に汲む
我に至剛の誇りあり
いざ百難に試みむ

応援歌 No. 3

町田太郎作詞作曲

1. 伝統の花れうらんと
松尾が丘は時じくの
春を誇れりいざやいざ
凱歌を挙げて地軸をうたん
上田、上田、上田、上田
勝利の上田
2. ああ堂々の陣を張る
信濃の勇者我が上田
打てよ走れよ虹を呼べ
真田の血潮伝統に燃ゆ
上田、上田、上田、上田
勝利の上田

凱歌

吉村武生作詞

1. 夕陽千曲の水の面に
映えたる血潮輝きて
躍るや絶えぬ歓びの
流れにひびく陣太の音
聞けや胸血のたぎる聲
誉のかぶと我得たり
2. 黙示の色に溢れたる
浅間の峰の空高く
五色の旗のたなびきて
夕陽の四方を覆ふとき
見ずや誉のこの旗を
永く我が手に保たなむ